

協会記事

平成26年度優秀施工者国土交通大臣顕彰 (建設マスター) 受賞者の紹介

平成26年度優秀施工者国土交通大臣顕彰式典が2014年10月10日（金）にメルパルクホール（東京都港区芝公園2-5-20）において開催され、昇降機業界から当協会推薦で2名の方が受賞されましたのでご紹介いたします。

優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）は、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事している建設技能者の中から特に優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成などに多大な貢献をしている方を国土交通大臣が顕彰する非常に名誉なものです。

今年度は389名（内女性5名）の方が顕彰されました。

なお、優秀施工者国土交通大臣顕彰は平成4年に創設され、この23年間で今回受賞した2名の方を含め44名の方が当協会推薦で受賞されております。

今回受賞されたお二人には今後の益々のご活躍を期待致します。

○受賞者の紹介

1. 竹田 俊一 殿 (52歳)

日機工業株式会社傘下の個人事業主として、長年にわたり株式会社日立製作所製のエレベーターの据付工事に従事され、特に超高層建物納めやダブルデッキ等の高速エレベーター、特殊エレベーターを優れた技能で施工されており、また常に安全に配慮するとともに据付品質の高い製品をお客様に提供されてこられました。

2. 湯舟 耕作 殿 (58歳)

善興産業株式会社の社員として、長年にわたり日本オーチス・エレベータ株式会社製のエレベーター、エスカレーターの据付工事に従事され、特に中国地区における官公庁の大型物件を数多く施工されており、また常に安全に配慮するとともに据付品質の高い製品をお客様に提供されてこられました。



竹田 俊一 殿



湯舟 耕作 殿

○建設マスターとは（国土交通省ホームページより抜粋）

建設マスター（優秀施工者国土交通大臣顕彰 被顕彰者）は、建設産業に従事している現役の技能者の中で、第一線の現場作業に従事し、卓越した技能・技術を有している「ものづくりの名人」です。

<建設マスターの顕彰基準>

- [1] 技能・技術が優秀であること
- [2] 工事施工の合理化等にご貢献していること
- [3] 後進の指導育成に努めていること
- [4] 安全・衛生の向上にご貢献していること
- [5] 他の建設現場従業者の模範となっていること